佐賀県支部

平成29年5月6日(土)16時から、伊万里市の「いけす割烹山平」で佐賀県支部総会を開催しました。出席者は去年より3名多い17名でした。

松尾支部長の挨拶のあと議事に入り(1)平成28年度事業経過報告及び決算報告(2)会計監査報告(3)平成29年度事業計画(案)について審議。原案どおり承認されました。

審議の中で、高齢化等による会員の減少で主な収入である会費が減少し校友会事業に支障を来すようになったことが報告されました。

この現状を打開するため会費の増額や未納者への積極的な催告、さらには、魅力ある事業の掘り起こしなど多くの意見が出されました。予定時間も越えこれと言った解決策はなく、最終的には支部長の意見で、事業の縮小と共に予算を縮減し現会員で活動を維持していくことを確認しました。

また、九州ブロック長でもある支部長から次年度熊本県で開催予定の九州ブロック総会への出席要請があり出席予定者を決め、閉会しました。

総会終了後は、懇親会でのカラオケで盛り上がり、次回行事での再会を約束し散会しました。

（文責　太田　勝一）

長崎県支部

眺めおろす家の前の歩道に、頭髪や足取りに盛りを過ぎたきざしの人たちが多くなった。午後、戯れながら帰校する中学生の一群と行合う光景はいかにも老若を対比して鮮やかである。まぎれもなく自分は前者に属するのであるが、それを別世界の景色として受け止めようとしているもう一人の自分がいる。

団塊世代筆頭だから午後の日影の長い場所にいることは確かだ。子供が結婚し孫ができる一方で、旧職場、その同僚や関係者、通勤時の街並み、ひいては世間事象との関係において日々静かに確かに潮が引いているのを感じる。友人にはつれあいを失ったり、破産や離婚をしたり、配偶者を認知介護する者も出てきた。また数人はすでに40代、50代で逝った。もろもろの人生を目の当たりにすると、人は寡黙になり、回想にひっぱられ、情動のモチベーションは次第に小さくなる。それでも同世代の暮らしぶりには関心があるから世の退職者の生活スタイルを映すテレビ番組を視聴したりする。作られ編集されたそれらは眉唾なしに見られたものではないが、気分を滅入ることを避ける自分なりの日常の過ごし方だと思っている。過去容積が大きくなるということは未来容積が小さくなるということなのだ。

校友会の名簿は昭和の卒業生が圧倒的に多い。この方々は会報や総会通知にどれほどの関心を示しておられるだろうか。そう思っていたら秋口の総会に「初めて」という女性が参加してくださった。

（文責　平田　兼明）

大分県支部

平成28年10月22日、日田市亀山亭ホテルにて開催しました(6名出席)。

九州ブロック総会へ向けた準備等の最終的な確認を行いました。内容は総合、懇親会の役割、余興の団体との打ち合わせでした。

次回は平成29年1月に予定しております。

（文責　中屋敷　裕二）

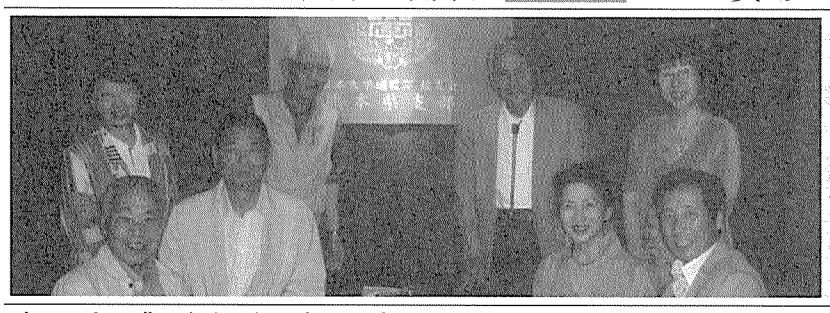
宮崎県支部

本年度支部総会を8月22日に宮崎市の東天閣で開催した。平成27年度の事業報告と決算及び平成28年度の事業計画と予算について協議、承認を得た。その後、懇親会に進み、夏のスクーリングの思い出など、学び多かった大学時代と、学びがその後の仕事や社会生活で役立っていることなど、縁戚で大いに盛り上がった。

また、学友会廃止による校友会活動への影響や、校友会活動のあり方なども真剣に話し合うなど、有意義な総会であった。

（文責　久米田　義夫）

熊本県支部



4月17日に予定しておりました平成28年度支部定期総会は、熊本地震の影響で延期を余儀なくされ、7月10日(日)改めて熊本市の番屋を場所として開催しました。

出席者は8名と少なかったのですが、お互いの無事を喜び合った後、開会され、荒木支部長の熊本地震へのお見舞いも含めて挨拶があり、日大校友会熊本県支部の梨子支部長より来賓挨拶を賜りました。

その後議事に入り、行事経過報告並びに収支決算報告、28年度の行事計画と収支予算書を審議し、それぞれ原案通り承認されました。

終了後、前支部長の本田みよ子さんより講話を頂戴し、日大英文科を卒業して教員免許を取得され、四十数年間看護師として勤務された後、校友の方の紹介で女子校の先生になられ、初めて担当した生徒が卒業し、その時生徒たちが「本田先生ありがとうございました。先生大好きです。」などと言ってくれてとても感激したと、話されました。

教員として働ける夢が叶えられたことは、日大で学んだお陰や、それから家族、生徒たち、校友の皆様多くの方々のお陰だと感謝の言葉を述べられて終わりました。

それからが楽しみの懇親会です。本田さんの講話の話題や、それぞれ自分たちの近況報告などで盛り上がり、時が経つのを忘れるほどでした。

（文責　荒木　利八）

三重県支部総会開催のお知らせ

● 日時
平成29年12月3日(日)
10時30分～11時30分
● 場所
伊勢市福祉健康センター

（文責　大形　弘）

鹿児島県支部

鹿児島県支部総会は、去る7月30日(土)11時30分から、鹿児島市中央町薩摩郷土料理吾愛人（わかな）において11名の参加者を得て開催しました。

牧迫幹事長の進行により、物故者に対し黙祷後、古市支部長挨拶後、5月21日(土)に、東京で開催された本部総会で鹿児島県支部から日頃の校友会支部活動の功績を認め、本部に推薦していました平山章様（支部表彰）及び勝田卓朗様・田実秀明氏が特別表彰（米寿）として、校友会本部総会において、功績を認められ表彰の表彰状伝達式を支部長から行った。校友会会員一同よりお喜び申し上げます。

勝田卓朗様・田実秀明様におかれては、鹿児島県支部発展に大変なご尽力をいただき今日の鹿児島県支部が存在するものであり、感謝と敬意を心から表する次第です。これからも健康に留意され、校友会発展に御指導をお願いします。

苦労して、尊い経験を積んだ学生時代の話を交えた自己紹介を行い、議事では議長に支部長を選出、平成27年度事業・決算・監査報告を認定、平成28年度事業及び予算を承認した。

総会終了後は、懇親会を開催した。

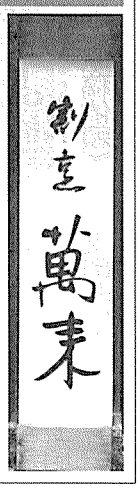
皆様が熱心に母校愛に燃え、昔の学生時代を思い出しながら親睦を重ね、熱心な情報の交換を行った。

校友の皆さんが身近にいて、校友会に対する認識も高まるものと思われます。

最後に今後の支部会員の健康と活躍を願い散会した。

（文責　古市　重喜）

町まちの文字 (32)

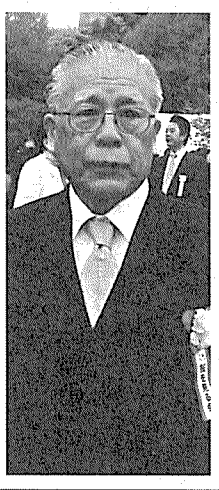


香川・高松市百間町にある創業昭和11年、80余年の歴史を誇る割烹の老舗「萬来（ばんらい）」の入口に取りつけられた電気看板燈火。

看板燈の文字は、有名な庵治石の産地、庵治出身の書や水墨画をよくした藤本木田氏（ぼくでん）の筆。

本部相談役　小西　長之助（香川県支部）

高齢者叙勲者紹介



高橋　章さん

高齢者叙勲（88歳）
瑞宝双光章受章
元・三重県立伊勢工業高等学校校長
日本大学通信教育部国文卒（昭和38年）
日本大学桜師会本部理事
日本大学桜師会三重県会長

（文責　大形　弘）

日本大学通信教育部校友会　事務局長
日本大学経済学部校友会　幹事長代理
日本大学校友会東京都第五支部　板橋桜門会幹事長
江崎　泰元
葵コーポレーション株式会社　代表取締役
本社　〒114-0015　東京都北区北中里一二〇-一〇　水野ビル
電話　〇三-五八一五-二二一五(代)
FAX　〇三-五八三四-二〇〇三

日本大学校友会　常任委員
日本大学通信教育部校友会　副会長・総務部長
日本大学校友会埼玉県支部　常任幹事
肱岡　堅一
〒344-0064　埼玉県春日部市南二-四-一六
電話　〇四八-七三八-七一三〇

日本大学校友会　委員
日本大学通信教育部校友会　副会長　財務部長
日本大学千葉桜友会　顧問
山本　良吉
〒290-0011　千葉県市原市能満一三〇六-三
勤務先　市原田園ホーム(有)
TEL　〇四三六-二五-一三三二
FAX　〇四三六-二四-二五五一

日本大学校友会　委員
日本大学通信教育部校友会　副会長・広報部長
師田　袈裟茂
〒225-0005　横浜市青葉区荏子田二-六-二
TEL　〇四五-九〇三-一八二一
FAX

日本大学校友会　委員
日本大学通信教育部校友会　副会長・組織部長
日本大学通信教育部校友会　埼玉県支部　顧問
鎌子　健
事務局〒102-8005　東京都千代田区九段南四-八-二十八
日本大学通信教育部内
TEL〇三-三二三四-五八五八
FAX〇三-三二三四-五八五八
自宅〒340-0156　埼玉県幸手市南二-十九-二十七
TEL〇四八〇-四三-〇九四六
携帯〇九〇-四一二一-六三五〇
E-mail:kamaken@dune.ocn.ne.jp

日本大学通信教育部校友会　副会長
日本大学通信教育部校友会　関東ブロック長
日本大学通信教育部校友会　東京都支部支部長
金子栄輔
〒179-0074　東京都練馬区春日町三-十九-一一
電話　〇八〇-五〇三一-一四六七